

ネット社会の価値を高めるソリューションを提供し続けるため、幅広いスキルを持った技術者育成の一環として、「Cosminexus認定資格制度」を積極的に活用

日立INSソフトウェア株式会社（以下、日立INS）は、インターネット社会の価値を高めるソリューションを提供し続けるため、“人こそが財産である”との考え方のもと、技術者育成の一環として、コスミンネクサス「Cosminexus認定資格制度」を活用している。これは、日立が統合システム構築基盤「Cosminexus」のスキルを認定するために運用している制度だ。すでに若手技術者を中心に「技術力プラスアルファ」の力を伸ばす資格を取得。技術力向上に加えて、顧客とのコミュニケーション力がアップするなど、今後のソリューション提供力強化につながる大きな成果を獲得している。



日立INSソフトウェア
株式会社
人事総務部
文書教育グループ
部長代理
久芳 和明氏



日立INSソフトウェア
株式会社
インターネットソリューション
事業本部
e-Business開発部
主任技師
佐々木 正夫氏



日立INSソフトウェア
株式会社
インターネットソリューション
事業本部
e-Business開発部
技師
佐々木 貴敏氏



日立INSソフトウェア
株式会社
インターネットソリューション
事業本部
e-Business開発部
片野 良之氏

幅広いスキルを効率よく身につけ 「技術力プラスアルファ」の力を伸ばす

日立INSが提供するネットワーク・ソリューションは、インフラ部分のプラットフォーム層、運用を考えたミドルウェア層、アプリケーション層という3階層からなるトータル・ソリューションである。

「通信・公共・金融業界のミッション・クリティカルなインフラ構築から各種業務アプリケーションの開発・構築まで、長年にわたって幅広く手がけてきた経験とノウハウを体系化して、お客さまのニーズに最適な形で応える問題解決型のアプローチを強化しています」と佐々木 正夫氏は紹介する。

そして、トータル・ソリューション力をさらに高めていくために力を入れているのが、幅広いスキルを持った技術者の育成である。

「これからの技術者には、技術力だけでなく、コンサルティング力や交渉力をはじめ、社内の各部門の力をとりまとめてソリューションを作り上げる調整能力やリーダーシップなど、多種多様なヒューマンスキルが不可欠です」と久芳 和明氏。

そこで同社は、経済産業省の「ITSS」に準拠した人材育成制度を策定し、体系的に実行。社員の自立的なキャリアアップを支援しながら、「技術力プラスアルファ」の力

を伸ばし続けてきたのである。その中で、「Cosminexus認定資格制度」を、幅広いスキルを持つ技術者育成の一環として、積極的に活用している。

「日立INSは技術者集団であり、常に新しい技術を習得し続けていくことが、企業の力につながります。Cosminexusは、信頼性の高いアプリケーションサーバを中核に、ワークフローやポータルシステムをカバーしており、これからのWebアプリケーション開発に重要な製品。業務アプリケーションの開発者から、ミドル層やプラットフォーム層の設計・構築の担当者まで、幅広いスタッフがそれぞれの立場で効率よくCosminexusの基本を学ぶことで、ソリューション力が全体的に高まり、お客さまにも安心感や信頼感を提供できるのが、資格取得の大きな目的です」（佐々木 正夫氏）

疑問に思っていたことが氷解 業務で活用出来た具体的な情報

Cosminexusの信頼性設計や運用設計のテクニカルスキルを認定する「Cosminexus認定プロフェッショナル」を取得したのが佐々木 貴敏氏である。

「すでにCosminexusを使ったJ2EEのシステムを複数開発しており、Cosminexusについての技術的な知識はありました。さらに一步

PARTNER PROFILE

日立INSソフトウェア株式会社

www.hitachi-ins.com

本社 神奈川県横浜市西区みなとみらい12-3-3
クイーンズタワー-B 25階

設立 1986年4月

資本金 5億円

従業員数 750名(2007年4月現在)

インターネットを中心としたネットワーク・ソリューションの会社として、通信・公共・金融など幅広いフィールドで事業を展開。事業内容は、ICTビジネスソリューション、ICTクロスマーケットソリューション、ICTインフラソリューションの3本柱。最近では、顧客との密接なコミュニケーションをベースにした「SIソリューション提供」に力を入れている。内部からの情報漏えいを防ぎ、同時に、外部からのワーム・スパムメールをシャットアウトするメールアーカイブ&フィルタ「WISE Audit」、RFIDソリューション、eCRM/CTIシステムソリューションをはじめ、自社開発パッケージも豊富。沖縄の関連会社・沖縄日立ネットワークシステムズ株式会社を中核に、「アジアと日本の情報ハブ」構築にも注力している。

Cosminexusとの連携製品も多い日立INS(株)の主なソリューション

電子透かしプリントソリューション 「e-紙紋」	紙文書からの情報漏えいを抑止するソリューション。印刷物にデザインを大きく変えないで「いつ、誰が印刷したか」という透かし情報を埋め込むことが出来る製品。
RFIDソリューション	業務コンサルティングをはじめ、金属タグなどさまざまなICタグやリーダ装置などの選定、アプリケーション開発、運用サポートまでトータルRFIDソリューションを提供。
中国IP-VPNネットサービス	中国、香港、日本の各地域を結ぶネットワーク網を短納期で構築。バックアップ回線等により安定した品質性能が確保され、ベストエフォート型VPNとの違いを実感できる。
メールアーカイブ&フィルタ「WISE Audit」 構築サービス	企業のメールをアーカイブしフィルタリングすることで情報漏えいを防止し、CSR確保に貢献。高速検索と便利な管理ツールが評価され、3年連続で国内トップクラスのシェアを誇る。
「電子フォームワークフロー」 構築サービス	紙帳票の電子化を実現するWebのワークフローシステム。使いやすい帳票イメージでのワークフローを開発・構築し業務効率を高める。既存の総務ワークフローからの移行サービスや企業ポータルシステムとの連携サービスも提供。
「Groupmax Collaboration」 構築サービス	Cosminexusを基盤とする日立のグループウェア製品。日立INSでは、Cosminexus認定資格取得による技術者の育成により、高信頼システムを構築。既存の「Groupmax」からの移行サービスも提供。
「uCosminexus Portal Framework」 構築サービス	企業内での情報共有をスムーズにし、個人が企業リソースを最大限に活用するための企業ポータルを実現する。

進んで、構築技術を学ぶことで、お客さまの要望に応じて的確なシステムを開発する力を身につけたいと考えて、『Cosminexus認定プロフェッショナル』を取得したのです」と佐々木貴敏氏は語る。

講座を受講したことで、これまで疑問に思っていたことが氷解したり、実践的な構築技術に数多く触れることができて有意義だったという。

「たとえば『1時間にこれだけの件数を処理したい』という要件があったら、どのようにサイジングし、どのようなパラメータを設定するのが最適であるか、的確な知識が得られました。また、『こういう現象が起きたときはこういう対処をしろ』という知識など、実際の業務に役立つ具体的な情報も講座で伝授してもらえ、正直、こんな情報まで教えてもらえるのかと驚きました(佐々木 貴敏氏)。

知識を得られただけでなく、顧客から相談を受けたときに提案の根拠を明確に示せるようになり、コミュニケーションの要素も含めたスキルを高めることができたのも大きな成果である。

実機を使ってわかりやすく Cosminexusの全体像を把握

一方、片野 良之氏はCosminexusを使用したインストールや環境構築のテクニカル

スキルを認定する「Cosminexus認定エンジニア」を取得した。

「ミドルウェア層の設計やミドルウェアのインストールを担当していますが、Cosminexusを用いる案件が増えてきましたので、基本的な知識を身につけておこうと思って受講しました(片野 良之氏)。

同氏は、Java™やJ2EEの知識はなかったが、Cosminexus認定資格講座では実機を使ってわかりやすくポイントを教えるため、スムーズに知識を得ることができたという。

「Cosminexusとはこういうもの、という全体像をつかむことができましたので、違和感なく理解でき、Cosminexusを含むシステムを開発・構築ができるようになりました。また、お客さまから設計内容について質問をいただいたときに、的確に答えられるようになったのもメリットです(片野 良之氏)。

資格取得で得たスキルを活かし 新たな業務開発や構築に取り組む

「次の目標は『Cosminexus認定プロフェッショナル』の取得です。信頼性設計や運用設計のスキルを身につけて、システム設計の段階で運用まで考慮することで、より信頼性の高いシステム基盤づくりを目指したいと思います。いままでの経験やノウハウを、

Cosminexusと結びつけてさらに活用していきたい」とステップアップを目指す片野 良之氏。

「お客さまの要件に合った、より良い提案のためには『Cosminexus認定コンサルタント』の知識が有効と考えています。また、他の技術者にそれまでに得た知識を伝えたり、Cosminexus認定資格講座の受講と資格の取得を推奨するといった社内での働きかけにも取り組んでいきたい」と佐々木 貴敏氏も語る。

同じ認定資格を取得している技術者同士は、知識レベルが同じで使う用語も共通しており、大規模プロジェクトなどでも情報共有がやりやすくなり、コミュニケーション力がアップすると考えているのだ。

日立INSでは、Cosminexus認定資格制度の活用により、幅広いスキルを持った技術者を効率よく育成するというメリットに加え、技術者それぞれのモチベーションアップにも効果があがっている。

「今後は、これまで培ってきた実績やノウハウに加え、Cosminexus認定資格制度で得たスキルを活かし、新たな業務アプリケーションの開発や構築に積極的に取り組んでいきたい(佐々木 正夫氏)。

今後、Cosminexus認定資格の取得者が中心となって、日立INSのSIソリューション事業をさらに拡大していくに違いない。

統合システム構築基盤

Cosminexus
コズミネックス

ITSS:IT Skill Standard J2EE:Java 2 Enterprise Edition

●Javaは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
●その他記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お問い合わせ

株式会社 日立製作所 ソフトウェア事業部 販売企画センタ
TEL.03-5471-2592 www.cosminexus.com